

第5次総合振興計画事務事業評価シート(様式1)

提出日	R5.8.14		
担当	課名	にぎわい創出課	
	グループ名	地域振興グループ	
	記入者名		
(2)事業種別 (新規・継続)	継続	(3)事業性格 (政策・一般)	政策事業
(5)予算・財源等の別			
①会計区分	一般会計		
②財源区分	町単独		
③予算科目	款	7	項 1 目 3
④予算事業名	魅力発信拠点運営費		
(7)総合戦略			
①総合戦略 (該当事業名)	魅力発信拠点運営費		
③事業期間	開始	令和2年	4月から
	終了	未定	年 月まで

1 事業概要

(1)事業名	魅力発信拠点運営費		
(4)第5次総振での位置づけ			
①基本目標	活力ある産業のまち(産業の振興)		
②大項目	観光		
③中項目			
④施策			
⑤施策コード	6.4.0.0	掲載ページ	105 ページ
(6)実施根拠			
①事務分類(自治・受託)	自治事務		
②根拠法令			

2 事業の目的・対象及び内容

(1)目的(何のために行うか)	(3)手段(内容・どのような取り組みか)
<p>小川町駅前に立地する旧二葉支店の建物を改修し、以下の用途に供する建物として使用する。</p> <p>1. 観光案内所 2. 無料休憩所(バス待ちスポット) 3. 移住サポートセンター 4. サイクルスペース(レンタサイクル拠点)</p>	<p>改修工事の設計を委託し、令和2年度に工事を完了させ、開業できるよう準備を行った。令和3年4月から観光案内所・移住サポートセンター「むすびめ」として開業し、観光案内と移住サポートセンターを同一団体に運営させることにより連携を強化し、交流人口を増加させるとともに関係人口や定住人口の増加を図っている。</p>
(2)対象(誰に対して、何に対して行うか)	(4)成果イメージ(どのような状態になることを目指すか)
<p>・観光客(国内外) ・町民 ・事業者 ・移住希望者</p>	<p>来訪者を増加させることが農業や商工業の発展に繋がるとともに町への移住のきっかけにもなることから、町の活性化が期待できる。</p>
対象数	— 単位 —

(5) 事業を取り巻く環境(社会環境、町民ニーズ等)、団体、議会等からの要望など

既存(令和2年度まで)の観光案内所及び移住サポートセンターは、駅から約180m離れた場所で民間建物を借りて運営しており、契約更新を迎えていることや、用途上、より立地条件が良い物件への移転が望ましいとされていた。このようなことから、令和元年6月に小川町駅前の借地権付建物を取得し、令和2年度に改修工事を実施、令和3年4月から観光案内所と移住サポートセンターを併設した「むすびめ」を開業した。

(6) SDGsへの貢献



3 事業のコスト(実績・予算・決算) (単位:千円)

項目	(1)事業(内容) 名称 魅力発信拠点運営費					
	決算・予算年度	R元年度決算	R2年度決算	R3年度決算	R4年度決算	R5年度予算
(2) 事業費内訳	光熱水費	0	117	0	0	0
	サイネージ利用料	0	0	0	190	191
	改修設計委託料	0	2,024	0	0	500
	土地賃借料	0	1,568	1,568	1,568	1,569
	改修工事費	0	27,108	0	0	3,800
	備品購入費	0	638	0	0	0
	運営費補助金(観光案内所)	0	0	6,259	7,109	7,102
	運営委託料(特産品販売所)	0	0	0	0	19,096
	その他	0	130	31	31	31
	直接事業費合計	0	31,585	7,858	8,898	32,289
(3) 財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	13,000	0	0	7,400
	地方債	0	11,800	0	0	0
	その他特定財源	0	1,000	3,000	3,000	3,000
	一般財源	0	5,785	4,858	5,898	21,889
合計	0	31,585	7,858	8,898	32,289	
(4) 補助金名		県ふるさと創造資金	まちづくり寄附金	まちづくり寄附金	まちづくり寄附金	県ふるさと創造資金
(5) 人件費						
投入職員数	0	0.5	0.5	0.5	0.5	
年間人件費	0	3,820	3,814	3,771	3,849	
(6) 総事業費	0	35,405	11,672	12,669	36,138	
サービス量(人)	0	383,563	494,799	699,362	720,000	
サービス単価	—	92.3	23.6	18.1	50.2	
(単位)		円/入込観光客1人当たり				

4 指標の検証(活動指標・成果指標)		魅力発信拠点運営費				
指標名		単位	R3年度決算	R4年度決算	R5年度予算積算	
(1) 活動指標(実施した事業の量:回数、延長、面積等)						
指標名		目標値				
		実績値				
		達成率				
		目標値				
		実績値				
		達成率				
(2) 成果指標(実施した結果として得られた成果の量と達成度:人数、世帯数、件数、団体数、コスト指標等)						
指標名	観光案内所来訪者数	目標値	人	20,000	20,000	20,000
		実績値	人	20,296	23,666	
		達成率	%	101.5	118.3	
	移住希望者受付件数	目標値	件	120	200	200
		実績値	件	223	207	
		達成率	%	185.8	103.5	
(3) その他指標に現れない成果						
5 事業評価						
(1) 項目別評価						
評価項目		評価		評価理由	評価した理由を選択してください。	
必要性	事業の必要性	1	1 必要性が高い 2 どちらともいえない 3 必要性が低い	3	1 事業の実施が関係法令等で定められている	
					2 住民や団体など外部から要望・要請が多い事業である	
					3 その他(公共性を保つ観光案内所が必要である)	
妥当性	実施主体の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	3	1 事業の主体が関係法令等で定められている	
					2 民間では事業を行っておらず、行政が主体となるべき事業である	
	3 その他(公共性がある小川町観光協会及び町が施設を管理している)					
手段の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	1	1 事業を行うのに民間活力(企業、NPO、ボランティアなど)を活用している		
				2 他に有効な代替手段が見当たらない		
				3 その他( )		
効率性	コスト効率性 人員の効率性	1	1 効率的である 2 どちらともいえない 3 効率性が低い	1	1 サービス単価は減少している	
					2 サービス単価を維持している	
					3 その他( )	
公平性	受益者の偏り	2	1 偏りはない 2 どちらともいえない 3 偏りがある	2	1 公平に分配されている	
					2 おおむね公平に分配されている	
					3 その他( )	
有効性	成果の向上	1	1 成果が上がっている 2 どちらともいえない 3 成果が下がっている	1	1 成果指標は、目標値より実績値が上回っている	
					2 成果指標は、前年度より向上している	
					3 その他( )	
進捗度	事業の進捗	1	1 順調に進んでいる 2 概ね順調である 3 あまり順調に進んでいない	1	1 年度内に予定した事業は完了した	
					2 年度内に予定した事業の8割以上は完了した	
					3 その他( )	
(2) 総合評価(上記結果を踏まえて、問題点や課題を記載してください。)						
<p>・公共の観光案内所は、周辺の民間事業者の収益に影響を及ぼす販売等は抑制することが求められるものの、自らも収益性を上げることにより人件費等の運営経費へ充当させ、小川町観光協会経由で支出している運営費補助金を削減していく必要がある。</p> <p>・道の駅おがわまち再整備に伴い、観光案内業務が増加する見込みであるため、新たな運営体制を構築していく必要がある。</p>						
6 事業の方向性の判断		1 拡充 2 現状維持 3 縮小・統廃合				
評価主体	(1) 一次評価 (担当課長)	(2) 二次評価 (政策推進課長)	(3) 最終評価 (町長)			
評価	1	1	1			
説明	運営費を抑制するため、自らも収益を得るとともに、町内商工業や農業振興の寄与に努めていく。	移住サポートセンターと連携し、運営を行っていくことにより、町の活性化につなげる。	移住サポートセンターや再整備後の道の駅などと連携をとり、町の活性化及び移住者の増加に向けて継続して事業に取り組む。			